

みらくる

No.354

10



今月の

おきたま 男子

置賜管内で活躍する若手の組合員や職員を紹介するコーナーです。

佐々木 捷人(ささき はやと)

就農 8 年目

ブドウ・サクランボ農家

ブドウ約2畝とサクランボ約50畝を栽培しており、観光果樹園として販売や収穫体験を行っています。日々の作業でブドウの状態を確認し、品質を落とさないよう園地の管理や水やりなどに気を配っています。10月までさまざまな品種のブドウが食べられますので、ぜひお越しください。



山形県農業協同組合中央会と山形県農協農政対策本部は山形市の山形テルサ三ツルサホールを会場に「食料・農業・農村基本法の見直しに向けた山形県要請集会」を開催し、吉村美栄子知事や国會議員、県議會議員、など、実参加者約750人にWEB視聴者を合わせて約1000人が参加し、会場には当JAから若林英毅組合長が出席しました。

JA山形中央会の折原敬一会長は「将来にわたり安定的に食料を供給するため、食料安全保障強化の実現に向けた万全な法整備などの必要性について、JAグループより要請する」と挨拶しました。

食料・農業・農村基本法の
見直しに関する要請

《要請趣旨》

国際的に食料、肥料、飼料、燃料等の需給がひっ迫するなか、その多くを輸入に依存するわが国では、生産資材の価格高騰など食料安定供給リスクが顕在化しており、深刻化していくことが懸念されます。食料安全保障強化の実現に向け、JAグループでは、国民が必要とする食料はできるだけ国内で生産する「国消国産」の意義を発信し、国民理解の醸成に取り組んでいます。生産現場の声を基本法の見直しに反映させるため、国に対し強力に働きかけ下さるよう要請します。

《要請内容》

1 食料安全保障の強化

- (1) 食料安全保障の位置づけ・関連施策の強化・再構築
- (2) 国内生産の増大を基本とした方向の明確化
- (3) 生産資材の確保・安定供給
- (4) 新たな食料支援策の構築と円滑な食品アクセスの確保

2

再生産に配慮した適正な価格形成の実現と国民理解の醸成・行動変容

3

- (1) 再生産に配慮した適正な価格形成の実現
- (2) 国民理解の醸成・行動変容に向けた施策の拡充

農業の持続的な発展に関する施策
(1) 日本型直接支払を含めた施策全般にわたる見直し
(2) 多様な経営体の位置づけ・役割

- (3) 農地の適正利用・集約化
- (4) 農業者の経営安定対策の強化
- (5) みどりの食料システム戦略など環境負荷軽減に向けた取り組み強化
- (6) DX化・スマート農業、物流の効率化等の推進
- (7) 生産基盤の強化のための輸出拡大、知的財産の保護・活用
- (8) 防災・減災に向けた取り組み強化
- (9) 家畜伝染病、病害虫への対応強化

5

農村の活性化、中山間地域対策
JAなど関係団体の役割強化





意見表明

JA山形おきたま酪農振興会

会長 齋藤 栄治

JA山形おきたま生産組織協議会の齋藤です。

当JAの生産組織協議会は「稲作、果樹、野菜、花卉、畜産、酪農」の6つの振興会で構成され、会員は5,370名です。

私は、酪農振興会に所属しておりますので、「酪農経営の未来」について意見を述べさせていただきます。

当地域では、小規模な酪農家が大半を占め、稲作との複合経営を主体としております。近年は、農家が高齢化し、後継者の就農が進んでいないのが実態です。当振興会におい

ても、生産者の平均年齢は68歳、5年前まで32戸あった酪農家は、現在23戸と年々減少しております。その内、後継者のいる農家は、わずか4名という状況です。

現在、私たち畜産農家を取り巻く環境は、かつてない程、厳しい状況が続いております。長引くコロナ禍による経済停滞での生乳需要の減少、ロシアのウクライナ侵攻による生産資材価格の高騰、更には副産物である子牛価格の暴落などにより経営はひっ迫し、「このままでは、酪農経営に希望がもてず、廃業せざるをえない」との声さえ耳にします。特に、飼料費は生産コストの大部分を占めますが、配合飼料や粗飼料の価格は、長期にわたって高騰・高止まりが続いております。

こうしたなか、農水省では、配合飼料については、価格変動による農家負担を緩和する「配合飼料価格安定制度」の見直しを行っておりますが、その一方で、粗飼料については、そもそも配合飼料のような価格安定制度がないため、価格高騰による経営への打撃は相当大きくなっております。このような状況に対応し、畜産農家が安定的に経営を継続していただけるよう、農産物の価格変動の影響緩和対策に加え、資材高騰など生産コストの変動に対しても経営の影響緩和をはかる対策を講じていただくことを強くお願いいたします。

さらに、輸入依存度の高い飼料

作物の増産のほか、国産への切替・安定供給に向けた措置など、国内生産の増大に向けた対策を講じていただくことも必要となりますが、水田活用の直接支払交付金の見直しや、地域の導入意向にこたえられていない畑地化促進事業により、粗飼料をはじめ、飼料作物の国内生産の減少が懸念されています。そのため、畜産農家、飼料作物農家とともに持続的に経営を継続していけるよう、施策全般の見直しを強くお願いいたします。

昨年11月、酪農家の経営状況の悪化により、将来的に安定した生乳の供給ができなくなるという危機感から、飲用向けの乳価が10円引き上げされました。しかし、生産費の赤字すべてを補えるまでには程遠い状況にあります。こうした措置も大変ありがたいのですが、いま最も求めたいのは、再生産可能な適正な価格形成の実現です。コスト上昇分の価格転嫁が進んでいない現状、海外の取り組みを参考に、再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みを具体化することが必要です。農水省では、他の作物に先行し、生乳等について生産費を価格に反映する仕組みを検討しておりますが、適正な価格形成の実現には、何よりも、消費者をはじめ国民理解が必要不可欠です。私たち酪農家は、これからも消費者の皆様へ「おいしい牛乳」を届けるため、一生懸命良質な生乳生産に努めてまいります。酪農家

が希望を持って経営を継続していただけるよう、適正な価格形成の仕組みの具体化とともに、国民理解の醸成に向けた取り組みを速やかに進めていただくよう、強くお願いいたします。

結びになりますが、国の政策は法人化を進める大規模農業への支援に重点を置いてきたと思われませんが、全国には日本農業の礎を築いてきた小規模な家族経営の農家も多くおられます。失われつつある家族経営体も農業を継続できるように、万全な施策を講じていただくことを最後にお願ひし、私の意見表明といたします。



10月の運勢
牡牛座
4/20~5/20



【全体運】 ゆっくりと時間をかけて進めましょう。無理をしないのが一番。お誘いはできるだけ受けて◎。世界が広がります
【健康運】 腰痛予防を。ストレッチやコルセットで対策
【幸運の食べ物】 サツマイモ

集荷目標81万俵の達成を誓う JA山形おきたま米全量集出荷販売推進大会

当JAとJA稲作振興会は9月5日、JA本店で「JA山形おきたま米全量集出荷販売推進大会」を開きました。猛暑による生育状況や高品質良食味米生産の技術対策等について共有し、今年度の集荷目標81万俵の達成を誓い、南陽地区稲作振興部会の鈴木博徳部会長が代表して決意表明を行いました。若林英毅組合長は「山形おきたま米を1俵でも多く集荷していただけるよう、選ばれる産地としておきたまブランド米の確立と有利販売に繋げていく」と呼び掛けました。



若林組合長の挨拶に聞き入る生産者



おきたまの話題・出来事に
スポットを当て
いち早くお伝えします。

23年産山形おきたま米の安定供給に向けて 「米穀事業山形おきたま会」第24回通常総会

米穀事業山形おきたま会の第24回通常総会が8月2日、東京都内で4年振りに開かれ、会員であるおきたま米の主要取引先8社やJA役員ら20人が参加しました。

当会は、会員相互の事業発展とおきたま地域農業の発展に寄与することを目的としており、総会では米穀情勢や消費地における販売状況や今後の見通し等が報告されました。意見交換会では、米の消費が減少していくなかで、高品質米の安定供給に向けた取り組みに対する要望など活発な意見が交わされました。



決意を述べる若林組合長(中央)

おきたま産ダリア出荷最盛期に向けて ダリア振興部会出荷目ぞろえ会

JAダリア振興部会は8月9日、JA川西一次集荷場で出荷目ぞろえ会を開き、生育状況や病害虫対策のほか、曲がりなど検査時のチェック項目を確認しました。参加者は切り前の最適の見極め方について、開花が進む過程を一覧にした資料を見ながら、意見を交わしました。JA営農経済部園芸課の新野克行調査役は「今後も市場と連携して有利販売に努めていくので、規格を確認し品質の良いダリアを出荷していただきたい」と話しました。



出荷するダリアを確認する参加者

出荷に向けて規格を確認 ねぎ現地講習会および出荷検討会



長岡営業部長から管理方法について指導を受ける参加者

講師を務め、参加者は部会員の圃場を回りながら、現在の生育状況と今後の出荷に向けて意見を交わしました。巡回後に、JA川西一次集荷場へ移動し、出荷検討会を開き、搬入方法や等級と階級の区分などについて確認しました。各部会員の圃場で収穫した現物を手に取り、今後の栽培管理について長岡営業部長が指導しました。

JA「ねぎ振興部会」は8月8日、川西地区と長井地区の部会員の圃場(ほじょう)7カ所を巡回し現地講習会を開きました。岡堅一営業部長が



10月の運勢
双子座
5/21~6/21

【全体運】 交友関係の広がる発展運。多忙ながらも充実した時間を過ごせます。調べものをするにも好機。図書館の利用が吉
【健康運】 食事の栄養バランスをチェック。野菜が味方
【幸運の食べ物】 柿

ハウスさくらんぼ高単価を維持 ハウスさくらんぼ出荷反省会

J A「さくらんぼハウス栽培研究会」は8月10日、南陽市の「日の出」で出荷反省会を開きました。今年露地栽培のサクランボの生育が早く、出荷期間の一部が重なることで、販売価格に影響することが懸念されましたが、「佐藤錦」「紅秀峰」の単価は県内の平均単価を大きく上回る8824円（計画対比34%増）と高値で取引されました。市場担当者からは、次年度に向けて化粧箱の出荷増量と数量の維持・拡大などが課題として提示され、参加者は対策について協議しました。



熱心に協議を行う参加者



浴衣姿で業務に励む職員ら

たかはた夏まつりに合わせて 職員が浴衣姿で出迎え

J A たかはた支店は8月16日、高島町で開催した「第57回 たかはた夏まつり」に合わせて、同支店の窓口担当職員4人が浴衣を着て業務に臨みました。初めて浴衣で窓口業務を担当した職員からは「浴衣を着ての接客は少し気恥ずかしさがある。暑い日々が続いているので、お客様に涼しさを感じていただけたらうれしい」と話し、来店者は「華やかな浴衣姿がすてき。まつりを感じられていい」と笑顔で話しました。当日は青竹にちようちんをつけたイルミネーションが町を彩り、賑わいを見せました。

致芳・西根班合同でにぎやかに開催 長井地区女性部「野菜直売会」

J A 長井地区女性部の致芳班・西根班は8月10日と11日の2日間、旧J A 致芳取次店で野菜直売会を開催しました。直売会は令和3年から始まり、交流の深い両班の女性部員が自宅で栽培し、収穫した野菜や漬物などの加工品や手芸用品、精肉などをお盆の時期を利用して販売し、活動の幅を広げようと開催されたものです。開店とともに、お客様が続々来店され、「いらっしやいませ」「ありがとう！」と明るい掛け声とともにお勧めの料理レシピを紹介するなど、店内は賑わいを見せました。



賑わいを見せる店内

食の都大阪で農産物の魅力を強くアピール おきたまフェアin大阪

当J Aは8月20日と21日の2日間、東果大阪（株）が6月にオープンした八百屋&カフェ「Ichirica（イチカ）」を会場に、置賜地域の農産物をPRする「おきたまフェア」を開きました。旬のデラウェアや枝豆の他、山形グミおきたまデラウェアや米沢牛カルパスなどの加工品が店頭に並びました。J A 営農経済部園芸課の渡部正志課長は「この機会に上杉まめを覚えていただき、量販店等で見かけた際にはぜひ置賜産の枝豆を選んでいただきたい」と話しました。



商品を買いたい求める来店者

日頃のセールススキルを披露 窓口セールスコンクール

当JAは8月22日、JA本店で「窓口セールスコンクール」を開き、JA職員6人が出場しました。コンクールでは一人当たり12分程度の競技時間の中で、基本的な応対やお客様のニーズに合わせたJA金融商品の提案方法など、日々の業務で磨いたセールススキルを發揮しました。審査の結果、たかはた支店の佐々木望担当職員が最優秀賞を獲得しました。結城正行常務は「今回のコンクールで他の担当者の良い表現や話法などを支店内で共有して、セールススキルを高め合っ



コンクールの出場者と結城正行常務(右)、長谷部健久金融共済部長(左)

地域農業の発展に向けて意見交換 実行組合連絡会と常勤理事との懇談会



意見・要望について回答する若林組合長

実行組合連絡協議会は8月23日、川西支店で常勤理事との懇談会を開き、JA事業全般に渡って意見交換が行われました。米の取扱状況や担い手不足の対策、店舗再編に伴う利便性確保などについて意見や要望が出され、さまざまな課題に対して議論を行いました。若林英毅組合長は「資材や燃油の高騰や異常気象による被害など厳しい状況は続いているが、農業者の営農活動を守るため行政や関係機関と連携して対策を検討していきたい」と話しました。

肉質データ分析を肥育に活かす 米沢牛品質向上研修会

米沢牛銘柄推進協議会は8月23日、JA本店で置賜管内の肥育技術向上を目指すことを目的に、米沢牛品質向上研修会を開きました。講師に山形県農業総合研究センター畜産研究所の庄司則章氏を迎え、米沢牛と他和牛肉を比較した解析データをもとに、米沢牛の脂の旨みや香り、肥育管理の重要性について説明されました。生産者からは「大変興味深い分析データだった。今後も情報をキャッチしながら肥育技術向上に向けて取り組んでいきたい」など活発な意見が出ました。



庄司氏の説明を熱心に聞く生産者

地元のデラウェアを召し上げれ 小学校へデラウェア贈呈

高島町園芸振興協議会は8月24日、高島町立高島小学校でJA高島地区菅野仁一総括理事とJAぶどう振興部会小林茂則部会長から、特産のブドウ「デラウェア」を贈呈しました。菅野総括理事は「生産者の皆さんが一生懸命作った町内産のデラウェアのおいしさを沢山の方に知ってもらいたい」と話しました。学校給食用に用意されたデラウェア約960房が町内の小学校、幼児施設合わせて14施設に送られました。



デラウェアを贈る菅野総括理事(左)・小林部会長(右)と受け取る児童



10月の運勢
獅子座
7/23~8/22

【全体運】おいしい物を食べに出かけましょう。フットワークよく動き回ると幸運に出合えます。下旬は家の片付けを
【健康運】急な過負荷に注意を。準備運動を念入りに
【幸運の食べ物】トウガン

出荷ピークに向けて規格を確認 メロン振興部会全体交流会

J Aメロン振興部会は8月24日、川西町のJ A本店営農センターで全体交流会を開き、今年産メロンの生育概況や販売情勢、販売計画などをJ A担当職員が報告し、J A「農産物安全・安心プラン」に基づく農産物づくりの取り組み内容について協議しました。数量29ト、販売金額1650万円を目標とし、9月上・中旬の出荷ピークに向けて部会員らは出荷品を直接見ながら、出荷規格区分選別基準や箱詰め方法について確認しました。

現物を見ながら選別基準を確認する部会員ら



消費者へ新米をいち早くお届け！ 山形おきたま産米「瑞穂黄金」収穫開始

「瑞穂黄金」を収穫する佐藤さん



当J Aは8月24日、小国町舟渡の佐藤義昭さんの圃場（ほじょう）で2023年産米初となる稲刈りが行われました。収穫した稲は「ひとめぼれ」に似た粘りと甘み特徴の極早生品種の「瑞穂黄金」です。佐藤さんは「今年は暑さの影響で水不足が心配されたが出来の良い瑞穂黄金になったと思う。消費者の皆さんには、早く新米の香りや食感を味わっていただきたい」と笑顔で話しました。

生産者へ低コスト商品を提供 「かたらい訪問一斉運動」目標必達大会

当J Aは8月29日、J A本店で「かたらい訪問一斉運動」目標必達大会を開きました。生産資材の高騰が続くなか、肥料・農薬の予約購入に応じた奨励を行うなど、安定供給を図るためコスト低減に向けた支援を実施します。若林英毅組合長は「資材高騰で農産物の価格転嫁が難しいなか、かたらい運動は農家にとって重要な取り組みとなる。自信をもって農家組合員の皆さんに商品を提供し、目標必達をしていただきたい」と呼び掛けました。

目標必達に向けて頑張ろう
三唱を行う参加者



受講者に寄り添って操作方法を伝えるJ A職員



暮らしに役立つ便利な機能を学ぶ JAスマホ教室

8月25日J A米沢中央支店で、スマートフォン操作に慣れていない組合員や利用者の暮らしをより充実させることを目的に「J Aスマホ教室」を開きました。受講者は内蔵カメラやアプリの使い方、チラシやカタログに記載されているQRコードの読み取り方法など使用用途が広がる機能について、実際に操作しながら学びました。受講者からは「スマートフォンは機能が多く難しい印象があったが、使ってみると操作しやすく非常に便利だ」などの感想が出されました。



事務局 始めに仕事の概況を教えてください。

武田さん 昨年の春から地域おこし協力隊として「沖のかもめ会」という営農組合で、米作りを学んでいます。冬の時期には、飯豊町の「若乃井酒造(株)」で地場産業である酒造りをしています。

事務局 地域おこし協力隊として農業を始めた経緯を教えてください。
武田さん 飯豊町に来る前は宮城県仙台市で約10年間、飲食店で働いていましたが、働き始める前から「米作りをやりたい」と思っていました。当時は、資金の問題などで米作りを始めることを断念していました。コロナの影響もあり、飲食店をやめて地元の影響も戻った際に、もう一度農家に挑戦したいと家族に相談し、母の知り合いの方から現在の「沖のかもめ会」と地域おこし協力隊について紹介していただき、応募しました。



飯豊地区青年部
武田親祐さん
昭和60年1月22日生まれ(38歳)

で圃場の防除や排水作業に追われる日々が続き、自然の恐ろしさを痛感しました。
事務局 青年部に加入したきっかけや取り組んでみたいことをお聞かせください。
武田さん 地域の集まりや地元の農家さんと交流する機会が増えるのではと考え加入しました。加入してまだ4ヶ月ですが、歓迎会を開いていただき盟友の方々との親睦を深めることができました。

事務局 飯豊町で生活を始めて、町にはどんな印象を受けましたか。
武田さん 私は農家として農村部の地域で農業をしたいと考えていたので、飯豊町の田園風景は魅力的でした。また、お祭りや地域のイベントにも誘っていただき、農家同士だけでなく地域住民との繋がりが強い町だと感じています。
事務局 実際に農業を始めて嬉しかったことや苦勞したことは何でしょうか。
武田さん 昨年来米作りを1年経験してみて、新しい知識や経験が多くやりがいを感じました。苗から稲に成長する過程も嬉しかったですが、稲を収穫した時の達成感は大きかったです。苦勞したことは圃場や水の管理で、1日の大半を費やすこともありました。特に、昨年の8月の豪雨

事務局 仕事へのこだわりや気をつけていることはありますか。
武田さん 先輩農家の皆さんの話をよく聞くことです。農業経験のない私は、農業に関する現場の知識を聞く機会は大切にしています。分からないことは質問してメモを取りながら、少しずつ成長できるように日々取り組んでいます。
事務局 今後、目指していく目標はありますか。
武田さん 飯豊町で農家として暮らしていくことです。産地・集落があり、各々が田んぼや畑をもって生活している飯豊町が好きなので、

飯豊町の良さを無くさないためにも、農業を続けられるよう頑張りたいです。
事務局 話は変わりますが、趣味やプライベートはどのように過ごしていますか。
武田さん 趣味は料理をすることです。農家さんからおすそ分けいただいた野菜などを料理してお返ししたり、地域のイベントで料理を作ったりしています。昨年は、地域の子ども達が集まって餅つきをするイベントがあり、その際にお雑煮などを振舞いました。

事務局 最後に読者の皆さんへ「ひと言」をお願いします。
武田さん 農業を楽しく頑張ってください。今後ともご指導よろしくお願ひします。

【聞き手】飯豊地区青年部事務局
上田 伸治



JA 女性部

★
地域で
輝け！
★

JA山形おきたま 白鷹地区女性部

部長 佐藤 れい子
(さとうれいこ)

部員数 48名



白鷹地区女性部では、今年度の新しい試みとして、6月15日よりJA女性部「フレンドサロン」を開設しました。旧白鷹愛菜館を利用して毎週木曜日9:30～11:30まで開放し、都合の良い時間に利用して手芸やレシピ交換・試食（お茶飲み）など、部員同士の交流と活性化を目指し企画しました。

パッチワーク作品①



パッチワーク作品②



手芸教室



フレンドサロン第1回目はパッチワークバッグを作りました。部員の方に指導いただきパーツ作りから教えてもらい取り組みました。「今日は1枚作ったからあとは来週！」と気楽に取り組めるのも魅力です。今後もバッグの完成を目指します。また、編み物やかご編みなど参加者でアイデアを出しながら活動していきます。

4年ぶりの研修旅行



7月12日に4年ぶりに研修旅行を実施しました。あいにく土砂降りの雨でしたが、バスの中は大変盛り上がり、皆さんの自慢の漬物をいただきました。

「フレンドサロンでこの漬物教えてもらおうべ！」となり、後日、白鷹支店調理室にて漬物講習会を実施しました。旬のナスとキュウリの漬物を教えていただき、白鷹愛菜館にもレシピを置きました。

漬物教室



フレンドサロンでごちそうになった「ピーマン味噌」が大変おいしかったため、8月31日のフレンドサロンで講習会を行いました。

また、毎月行っている「花教室」の場で、部員

花教室



間の話の中から出たアイデアを形にしたり、「フレンドサロン」を活用して、今後も主体的に楽しく活動をしていきたいと考えています。

営農お役だち情報

水稲

適期刈り取りで良品質米に仕上げましょう！

◎猛暑の影響で異常高温となり、平均気温が高く推移しました。刈取適期の晩限を過ぎると、胴割粒の発生が懸念されますので計画的に刈取作業を実施しましょう。

【9月1日現在】 以降の平均気温により下表目安時期は前後します。

品種名	刈取適期(積算気温)	刈り始めの青初歩合	出穂期(本年)	刈り取り時期の目安
はえぬき(平坦)	950~1,200℃	20%	8月2日頃	9月4日~14日
はえぬき(中山間)			8月5日頃	9月5日~16日
雪若丸	950~1,200℃	20%	8月2日頃	9月4日~14日
つや姫	1,000~1,200℃	15%	8月8日頃	9月13日~23日
コシヒカリ	1,000~1,200℃	15%	8月8日頃	9月13日~23日



異物・異品種の混入を防止しクレームゼロに！

- ◎品種が変わるときは、コンバイン・乾燥機などの清掃を徹底し異品種の混入を防ぎましょう。また、籾摺りのときの最初の1袋は飯米に使いましょう。
- ◎作業機、作業場などの清掃に努め、異物・異品種の混入を防ぎましょう。

乾燥・調製は慎重に仕上げ全量1等米に！

- ◎収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風を行い、ヤケ米の発生を防ぎましょう。
- ◎乾燥は籾水分が20%以上の場合には毎時乾減率0.8%程度、20%以下の場合には毎時乾減率0.6%程度で行い、品質の低下を防ぎましょう。
- ◎胴割を防ぐため2段乾燥でゆっくり乾燥しましょう。
- ◎良質米生産のために、1.90mm網目(LL)で選別し、適正水分14.5%を厳守しましょう。

あせるな・きもむな・農作業安全！

- ◎コンバインなどの機械の点検・修理は、必ずエンジンを停止してから！
- ◎作業は計画的に、ゆとりをもって行いましょう！



- 栽培管理記録簿をまだ提出されていない方は至急各支店に提出ください。
- 栽培管理記録簿が出荷前に提出されない場合は、一般米扱い(▲300円/俵)になります。
- 農業生産工程管理(GAP)チェックシートは：10月27日(金)まで各支店に提出ください。



10月の運勢
射手座
11/23~12/21

【全体運】限られた時間の中で効率的に動けます。クールな判断も必要なので決めたことで気に病まないで。連絡は早めに
【健康運】つば押しマッサージで手のひらや足の裏を刺激
【幸運の食べ物】シメジ

果樹

『台風対策の徹底』

収穫直前のリンゴとラ・フランスは、台風が心配なシーズンとなります。防風ネットの点検や揺れを防ぐための支柱の見直し、枝の誘引などを徹底し、台風への備えを万全にしましょう。また、大雨により停滞水が残るような園地では、明きよを掘るなど事前の排水対策を行いましょ。



『ブドウの土づくり』

収穫を終了したブドウでは、来年の安定生産に向けた土づくりが今後の管理の基本となります。有効土層の浅い園地では、有機物および土壌改良資材を積極的に投入しましょう。



『ラ・フランスの適期収穫』

ラ・フランスは昨年より9日早い満開日を迎えましたが、夏場の高温経過によって当初の時期より遅れ、平年並みに近い収穫時期になりそうです。各地区の収穫判定会での結果を参考に、ヨード反応・硬度・糖度・満開後日数を総合的に判断し適期収穫を心掛けましょ。

野菜の栽培管理

気温が低下してくる時期なので、秋野菜では天候に配慮しながら適期作業を進め生育量の確保に努めましょ。ハウス栽培では多湿に伴う病害の発生が多くなるので、適期防除に努めましょ。

長雨や台風への備え、排水対策やハウスの補強・防風ネットの設置などを徹底ましょ。

1. ネギの管理

・ネギは、目標とする軟白長が確保できるようになったら、最終の土寄せをしっかりと行いましょ。軟白に要する日数は時期により異なり、9月下旬～10月中旬収穫で約20～30日、11月以降収穫で約40日以上が目安です。

・気温の低下と草勢低下時にさび病が発生しやすくなります。必要に応じて追肥と予防防除を行いましょ。(気温が22～23度より低く、降雨が多いと発生しやすい) 追肥は窒素成分で2～4kg/10aとします。

2. アスパラガスの管理

・アスパラガスの9～11月は貯蔵根への養分転流が進む時期です。萌芽が止まってからも養分の蓄積や翌年の芽の充実が進みますので、土壌が乾燥しないようかん水を継続ましょ。

・秋はアスパラガスに斑点病が発生しやすい時期です。降雨による多湿と過繁茂により発生しやすいので、下枝の整理を行い、通風を良くして薬剤散布の効果を高めるようにましょ。

・アスパラガスの茎葉刈り取りは、十分茎葉が黄化したから行いましょ。茎葉が少しでも緑色のうちは養

分蓄積が進んでいるので、完全に黄化してから刈り取りましょ。収穫打切後で秋雨期など雨の多い時期に茎枯病が発生しやすいので防除に努めましょ。

※適正防除を行い、茎葉をしっかり維持ましょ。次年度の貯蔵養分転流を促し、株を養成ましょ。(春芽の収穫は今年の貯蔵養分で発生します。) → 葉を大切に!

3. アスパラ菜

ハウス栽培では10月10日を播種晩限とし、本葉2～3枚(播種後20～25日)で定植するにはセルトレー200穴、本葉3～4枚(播種後25～30日)で定植するには128穴のセルトレーを使用ましょ。(育苗ハウスで育苗します) 無加温での栽培も可能ですが、翌年の1月上旬頃から収穫となるのでハウス内に二重カーテンを設置し、凍結の恐れがある場合は補助暖房を使用ましょ。(家庭用簡易ストーブ2～3台使用) ※ハウスの大きさにより異なります。

4. 青菜

10月中旬ころより収穫作業が始まります。天候を見ながら、晴天の日の午前中に地際部から刈り取りを行い、夕方まで乾燥させて少ししおらせてから回収結束をすると葉が折れにくくなります。

5. 白菜

10月下旬ころより収穫が始まりますが、結球のしまり具合を見て、進んだものから順次収穫ましょ。

いよいよインボイス制度が始まります。

◆ インボイス制度について

消費税の仕入税額控除の方式で、正式名称は「適格請求書等保存方式」といいます。インボイス制度導入後は、一定の要件を満たした適格請求書（インボイス）を売り手が買い手に発行し、双方が適格請求書を保存することで、消費税の仕入税額控除が適用されるようになります。

下記に記載の通り、農協特例を活用して全量出荷された場合は、インボイスは不要ですが、他に業者等に出荷があるとインボイスを求められる場合があります。

◆ 農協特例について

※農協特例を満たす一定要件とは…

重要!!

① 出荷名義人が農協の組合員資格を有していること

組合員資格を有していない場合は農協特例の適用外となり、共同計算と区分して精算される場合があります。

② 無条件委託販売であること

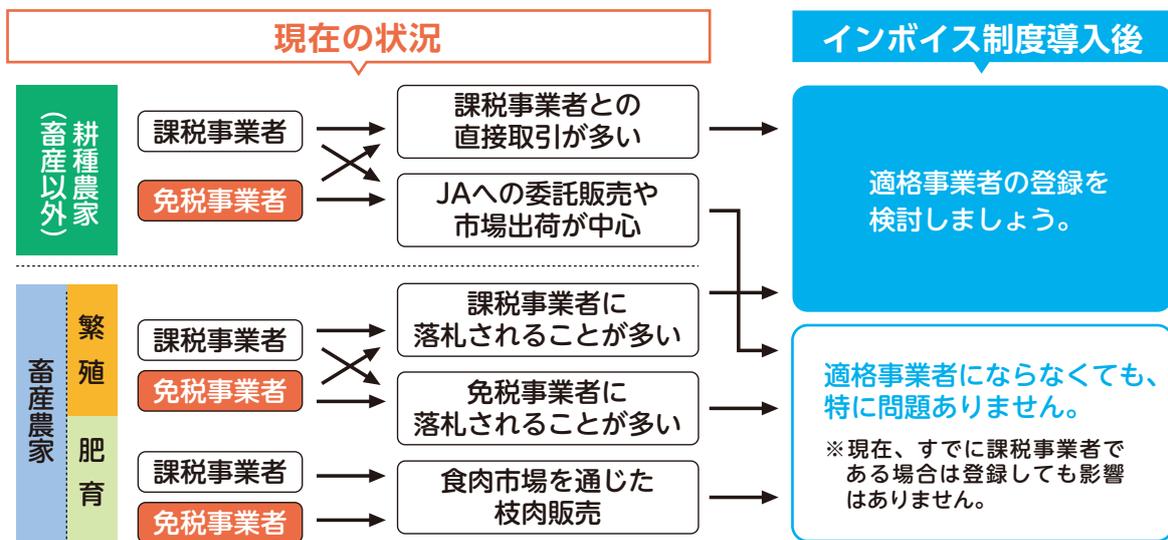
③ 共同計算による精算であること

現在、組合員資格を有していない出荷者については、最寄りの支店で加入手続きが必要ですようお願いします。

◆ インボイスについて再度、検討してみましょう。

現在の状況から 生産者が検討すべきこと

下の図を参考に自身が課税事業者か免税事業者か、取引先の状況などに応じてインボイス制度に参加するか、しないかを考えましょう。



※家の光(2023年6月号)より引用



おきたまクッキング



今年の夏も猛暑日が続く、体調管理に苦労された方も多いと思います。旬の野菜は昔から生活の中に取り入れられてきましたが、その時期に起こりやすい体調変化を防ぐための栄養素が多く含まれています。子どもの嫌いな野菜の代表格であるピーマンですが、ビタミンCを多く含むため、夏の紫外線によるダメージを軽減し、強い抗酸化作用により体内の炎症や、動脈硬化を防ぐ働きをしてくれます。今月は美肌を作る野菜「ピーマン」レシピを紹介します。

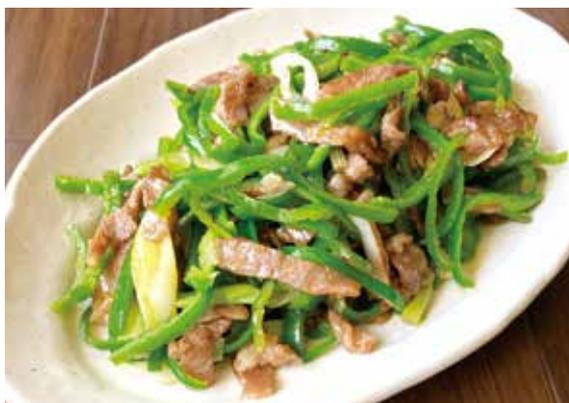
青椒肉絲(チンジャオロウスー)

【一人当たりの塩分量：1.6g】

材 料 (2人分)

米沢牛もも肉(薄切り) 80g
 (下味: 酒・しょうゆ各 小 1/2)・片栗粉 小 1
 ピーマン 180g(約4~5個)
 長ネギ 1/3本
 にんにく 1/2かけ
 塩 少々
 エコープマークこめ油

しょうゆ 大 1/2
 砂糖 小 1/2
 酒 大 1/2



作り方

- ①牛肉は1cm幅、長さ5cm程度に細長く切り、下味をもみこんでおく。
- ②ピーマンはヘタと種を除き、縦に細切りにする。
- ③長ネギは斜め薄切りにし、にんにくは包丁でたたいてつぶす。Aの調味料を混ぜておく。
- ④フライパンに、こめ油小さじ1を熱し②のピーマンをサッと炒め、塩少々をふって取り出す。空いたフライパンにこめ油小さじ1強を足し、にんにく、長ネギを入れ炒める。香りが立ったら①の牛肉に片栗粉をもみこみながら加え、フライパンに入れパラパラにほぐすよう炒める。炒めておいたピーマンを戻して炒め合わせ、Aを回し入れ手早く炒め器に盛りつける。

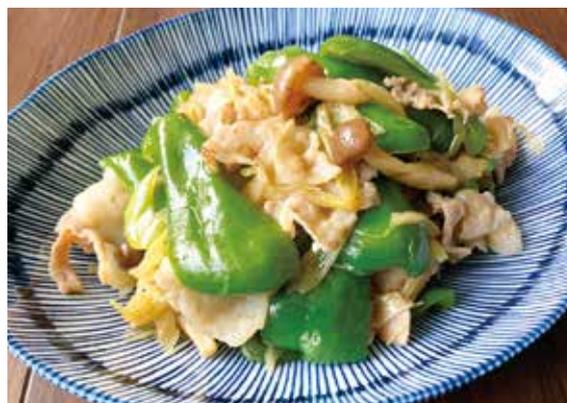
ピーマンのしょうが煮

【一人当たりの塩分量：2.4g】

材 料 (2人分)

ピーマン 7~8個(220g位)
 豚バラ肉(スライス) 100g
 長ネギ 1/2本(100g)
 しめじ 1/2株
 しょうが 2かけ
 ※しょうがは、新しょうがでも美味しい
 エコープマークこめ油 小 1

水 1/2カップ
 酒 大 1
 しょうゆ 大 1
 みりん 大 1
 砂糖 小 1
 塩 少々



作り方

- ①豚肉は4~5cmの長さに切る。
- ②ピーマンは縦半分に切りヘタと種を除き、縦半分に切る。(縦1/4にする)ネギは斜め薄切りに、しょうがは皮をむき千切りにする。しめじは根元を落とし、株を分けて置く。
- ③鍋にこめ油を熱し(中火)①を入れて炒める。肉の色が変わったらネギ、しめじ、ピーマン、しょうがの順に加え都度炒める。1分ほど炒めたらAを加え強火で煮る。
- ④煮立ったら中火にし、時々混ぜながらふたをしてピーマンが柔らかくなるまで(10分程度煮汁がほぼなくなるまで)煮る。

レシピ
考案者より

青椒肉絲は中国の定番料理で、主に豚肉を使いますが、牛肉を使用する場合、正式には「青椒炒牛肉絲(チンジャオチャオニューロウスー)」といえます。

(絲は細切りのこと、青椒はピーマンのこと)細切りにしたピーマンと肉を炒めた料理のことを意味します。

作るときはスピード勝負なので、事前に全部材料を切りそろえ、調味料など混ぜておき一気に炒めるとおいしく仕上がります。肉は加熱すると縮むのでピーマンより

やや幅を太めにカットします。ピーマンの太さをそろえると火の通りが均一になり、きれいに出来上がります。

ピーマンのしょうが煮は、しょうがたっぷり、秋らしくしめじを加えてみました。疲労回復効果のある豚肉を加え、まだまだ続く暑さを乗り切るレシピです。脂があってピーマンがやわらかく、しっとり仕上がるので今回は豚バラを使用しました。

これから秋にかけてピーマンが完熟すると赤くなります。栄養価もさらに高く、彩りも鮮やかになるので、様々な料理に加えてはいかがでしょうか。

クロスワードパズル Crossword puzzle



↓タテのカギ

- ① オーストラリア固有の動物。子守熊ともいいます
- ③ スペード、ハート、ダイヤ、—
- ⑥ なるべく—嫌いをせずに食べてね
- ⑦ 2枚の書類にまたがるようにはんこを押します
- ⑧ カラオケでのレパートリー
- ⑩ HPと表される仕事率の単位
- ⑭ 秋の夜長にページをめくりつつ楽しみます
- ⑯ 木材を切る道具
- ⑰ 天井と向かい合っています
- ⑱ 絹ごしや木綿があります
- ⑳ リレーの選手がつなぐ物

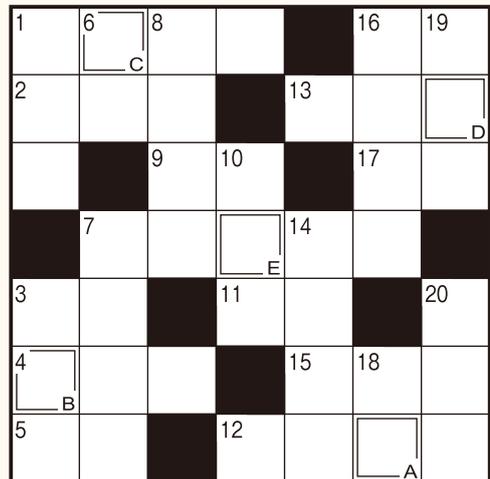
→ヨコのカギ

- ① 秋桜と呼ばれることもある花
- ② 有効利用されていない土地
- ③ イガに守られた実がなります
- ④ 野球では右翼手ということも
- ⑤ 小説家がつづるもの
- ⑦ 寒くなる頃に日本に飛んでくるものもいます
- ⑨ 春日局は徳川家光の—でした
- ⑪ 刺し身にのっていることもある花
- ⑫ 手紙のこと。往復—
- ⑬ 絵を描いたり粘土細工をしたりする教科
- ⑮ ローマやカイロ、マニラなど
- ⑯ 日本海に大きく突き出た—半島
- ⑰ 白川郷や下呂温泉で知られる県

正解者に抽選でプレゼント

★米沢牛(2名)

★クオカード(10名)



クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

ヒント 夜に咲き始める
特徴的な形の白い花

~~~~~ 応募方法 ~~~~~

官製はがきなどにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・本誌やJAに関するご意見・ご感想を必ずご記入の上、〒999-0121 川西町上小松978-1 JA山形おきたま総務課宛にお送りください。
締め切り 9月29日(金)必着

9月号の正解は

A B C D
アキナス

でした



9月号当選者

★シャインマスカット (2名)

梅津 歳子様 高 畠 町 平 福子様 長 井 市

★クオカード (10名)

井 口 昇 様 米 沢 市 齋 藤 恵 子 様 川 西 町
大 木 文 子 様 高 畠 町 齊 藤 民 男 様 長 井 市
鈴 木 勝 子 様 南 陽 市 赤 間 弘 美 様 白 鷹 町
高 橋 柁 子 様 南 陽 市 金 田 き よ 子 様 白 鷹 町
高 橋 け い 子 様 川 西 町 山 口 英 彦 様 小 国 町

※当選者ならびに手紙・イラストなど掲載時の住所、氏名の紹介について、ご了承のうえご応募ください。
なお、応募ハガきの個人情報、当JAの事業運営に関すること以外の目的には使用しません。



〈役員会だより〉 左記の事項を協議しました。

◎理事会の報告

第3回理事会

開催日／8月30日(水) 場所／本店

【協議事項】

- 第1号議案 利益相反取引の承認について
- 第2号議案 令和3年産米の最終精算について
- 第3号議案 資産査定要領の一部変更について
- 第4号議案 出資金減口の承認について

◎监事会の報告

第6回监事会

開催日／8月17日(木) 場所／山形市

【協議事項】

- 第1号議案 農水産業協同組合貯金保険機構による検査結果について
- 第2号議案 第1四半期監事監査意見書について
- 第3号議案 常勤理事と監事の意見交換会の開催について
- 第4号議案 令和3年産米共同計算にかかる監事監査意見書について
- 第5号議案 上半期仮決算棚卸監査の実施について

10月の無料税務相談

当JAは、税に関するさまざまな相談を無料で承っています。相談ご希望の方は、予約制ですので次の問い合わせ先までご連絡下さい。

▼開催日時・場所

10月18日(水) 午前10時～午後3時
本店(川西) ☎46-3112

▼相談税理士 仁科孝先生

10月の無料法律相談

当JAは、無料で法律相談を承っています。相談ご希望の方は、各支店にお申し込み下さい。

▼開催日時・場所

10月25日(水) 午後3時～午後5時
本店(川西)

▼相談弁護士 工藤剛先生

▼相談内容 交通事故、相続など

第7回监事会

開催日／8月30日(水) 場所／本店

【協議事項】

- 第1号議案 令和5年度上半期仮決算監事監査の実施について
- 第2号議案 山形県常例検査の受検について
- 第3号議案 早期警戒制度にかかる収支シミュレーションについて

JAカード
限定!

2023年9月・10月は



©よりぞう

期間限定キャンペーン

JA直売所のご利用金額の

10%相当をポイント還元!

対象期間 2023年9月1日(金)～10月31日(火)

還元時期 2024年1月

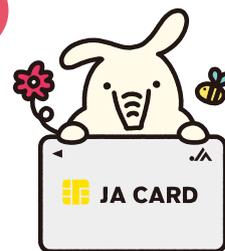
対象期間のJA直売所でのご利用金額合計の10%相当分から還元ポイント(4円で1ポイント)を計算します(小数点以下は切り捨て)。還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。

※ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。※還元金額はポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額(1ポイントは4円換算で交換)を記載しています。

いつもおトクな
JAカード特典!

JA直売所のご利用は
請求時

5% 割引!



※一部対象外の店舗がございます。

詳しくはこちら

<https://www.cr.mufg.jp/jafarmmarket2023/>



※本紙記載の情報は2023年4月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等でのお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

令和6年度 職員募集要項

試験日時

令和5年10月31日(火)
午前8時45分受付

試験会場

JA山形おきたま本店
(東置賜郡川西町大字上小松978-1)

大学・短大・専門学校卒業者 および高校既卒者

令和6年度の大学・短大・専門学校卒業者(令和5年度卒業見込者を含む)
および、高校既卒者の職員採用について、次により募集致します。

- ① 募集職種 / JA事業全般(信用・共済・販売・営農指導・購買・農機・福祉事業 他)
- ② 採用予定人員 / 正職員10名
- ③ 応募資格 / (1)①大学・短大・専門学校卒業者(令和5年度卒業見込者を含む) ②高校既卒者
(2)昭和63年4月2日以降に生まれた方 (3)通勤可能な方
- ④ 採用試験 / (1)第1次試験 能力検査・適性検査・集団討論・面接試験(予定)
(2)第2次試験 面接試験 日程等については、第1次試験合格者へ連絡致します。
- ⑤ 応募手続 / 提出書類
① 履歴書(市販、学校指定のいずれでも結構ですが、在学生は極力学校指定様式で提出下さい。
3ヶ月以内に撮影した写真を貼付して下さい)
② 志望の動機(履歴書の志望動機欄に記入[志望動機欄のない様式は別紙に記入])
③ 成績証明書(1年制、2年制の学校の場合は高校の成績証明書も併せて提出下さい)
④ 卒業証明書または卒業見込証明書(成績証明書と同一証明の場合は省略可)
⑤ 職務経歴書(職務経歴がある方)
- ⑥ その他 / (1)現住所以外の住所に受験案内等の送付を希望される方は、履歴書にその旨を記載して下さい。(2)提出書類については、選考および連絡に関してのみ利用致します。なお、提出書類は返却致しませんのでご了承下さい。(3)体調不良等があった場合は、管理部総務課までご連絡をお願いします。(4)当組合職員採用試験の同一年度内複数回受験はご遠慮願います。(5)その他不明な点については、管理部総務課へお問い合わせ下さい。

高等学校新卒者

令和6年度の高等学校新卒者(令和5年度卒業見込者)の職員採用について、
次により募集致します。

- ① 募集職種 / JA事業全般(信用・共済・販売・営農指導・購買・農機・福祉事業 他)
- ② 採用予定人員 / 正職員5名
- ③ 応募資格 / (1)高等学校新卒者(令和5年度卒業見込者)
(2)昭和63年4月2日以降に生まれた方 (3)通勤可能な方
- ④ 採用試験 / (1)第1次試験 能力検査・適性検査・集団討論・面接試験(予定)
(2)第2次試験 面接試験 日程等については、第1次試験合格者本人および学校に連絡致します。
- ⑤ 応募手続 / 提出書類
① 履歴書(学校指定様式。3ヶ月以内に撮影した写真を貼付して下さい)
② 志望の動機(履歴書の志望動機欄に記入[志望動機欄のない様式は別紙に記入])
③ 成績証明書 ④ 卒業見込証明書(成績証明書と同一証明の場合は省略可)
⑤ 職務経歴書(職務経歴がある方)
- ⑥ その他 / (1)提出書類については、選考および連絡に関してのみ利用致します。なお、提出書類は返却致しませんのでご了承下さい。(2)体調不良等があった場合は、管理部総務課までご連絡をお願いします。(3)その他不明な点については、管理部総務課へお問い合わせ下さい。

応募締切

令和5年10月20日(金)

応募書類必着

提出先

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松978-1
山形おきたま農業協同組合 管理部総務課 ☎0238-46-3111

農機センター秋の繁忙期対応について

各農機センターは、秋作業の繁忙期対応として9月9日(土)から10月22日(日)までの間、休まず営業します。農業機械修理などのご用命がございましたら、最寄りの農機センターまでご連絡をお願いします。

なお、対応期間は状況により変更となる場合もありますので、各農機センターにお問い合わせください。

農機センター緊急受付対応

- *米沢・川西農機センター(☎42-4200) 緊急受付 080-2833-0744
- *高畠・南陽農機センター(☎51-1510) 緊急受付 080-2833-0743
- *西部農機センター (☎88-4616) 緊急受付 080-2833-0745

緊急受付時間帯

◎平日/17時~19時 ◎土、日、祝日/9時~17時



みらくる

No.354

発行 2023. 10. 1

創刊 1994. 4. 25